

2021年1月19日

空港施設株式会社

## 東京都へのクレジット（CO2 超過削減量）寄付 ～東京都から感謝状を受領～

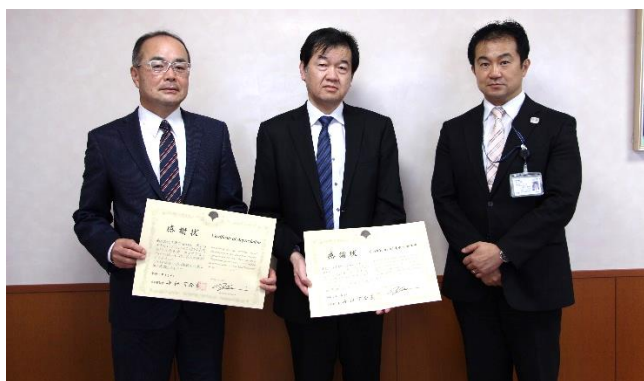


当社グループでは現在、ESG への積極的且つ誠実な取り組みの一環として、再生可能エネルギーへの取り組みの他、環境対策への熱源機器や照明機器の更新をはじめ、設備の運用方法の工夫、日頃の業務における社員の環境意識向上に向けた啓発活動等を行っております。

こうした中、当社グループは CO2 を排出しない持続可能な都市「ゼロエミッション東京」を目指す東京都の取り組みに賛同し、2020年3月31日に東京都キャップ&トレード制度に基づく超過削減量である 94,831 t をクレジットとして東京都に寄付し、今般、10,000t 以上寄付をした大口事業者として、東京都より感謝状を受領いたしました。

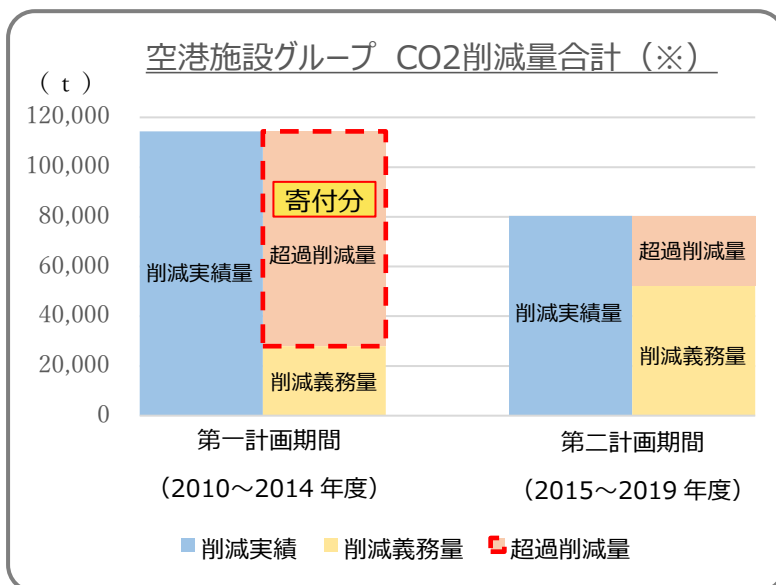
また東京都が定める第二計画期間（2015～2019年度）において、温室効果ガス削減義務を上回る削減量の達成を東京都に報告したことをお知らせいたします。

今後多様な取り組みを通じて、持続可能な社会の実現により一層貢献して参ります。



【東京都からの感謝状受領の様子】

単位：t



	第一計画期間 (10～14年度)	第二計画期間 (15～19年度)
削減実績量	114,425	80,339
削減義務量	27,958	52,355
超過削減量 ※注	94,831	27,984

## 【AFC グループの環境に対する取り組み】

当社グループは環境に対する取り組みを進めており、昨年には羽田空港国内貨物地区において、照明器具の LED への更新や、自家消費型太陽光発電施設を稼働させるなど、エコな施設への転換を目指して活動しております。

(リリース URL : [taiyoukouhatudennsetubi.pdf \(afc.jp\)](https://www.afc.jp/taiyoukouhatudennsetubi.pdf))



【貨物地区太陽光パネル】



【貨物地区 LED 照明】

※ 「ゼロエミッション東京」を目指す東京都の取り組みは、都内大規模事業所が対象となっており、その対象事業所については毎年見直しを行っております。当社グループでは、第一計画期間中に対象事業所数が減少しており、第二計画期間での削減量の減少の一因となっております。

また、第一計画期間中の超過削減量については、東京都による東日本大震災に伴う排出係数の見直しを受けたため、削減義務量と超過削減量の合計が削減実績量を上回っております。(下記参照)

[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large\\_scale/mukouka/guideline.files/torihiki\\_guideline\\_201910.pdf](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/mukouka/guideline.files/torihiki_guideline_201910.pdf)

## 【本件に関するお問い合わせ先】

空港施設株式会社広報室

電話 : 03-3747-0251 (9 : 00~17 : 00) ※土日祝日を除く

以上